



志津見ダム完成を祝う会 (平成23年)

新たな一步を踏み出そうとする住民の皆さんの想いが込められています。

ダム完成後、「志津見ダム水源地域ビジョン」が作成され、「志津見湖フォトコンテスト」、「ダム見学会」などのダム湖を活用したイベントの開催など、国土交通省、島根県、飯南町、地元団体が協働し、地域づくりを行っています。

30回目を迎えるコスモス祭

志津見ダムの建設に伴い、志津見地区周辺では、平成3年度から、「東三瓶フラワーバレー事業」として、毎年春にはポピー、秋にはコスモスを咲かせることで、景観維持に取り組んできました。これは、地域の生活環境やダム貯水池内の景観保全を目的としています。そして、景観維持だけでなく、花を活用した「ポピー祭」と「コスモス祭」を開催しています。

多くの人にダムに訪れてもらうことで「治水事業の大切さ」「志津見ダムの意義」を次世代に継承する目的を果たすだけでなく、斐伊川・神戸川の下流域に暮らす他市町との交流が進み、地域の活性化に繋がる本町を代表するイベントとなっています。

毎年、10月第2日曜日「東三瓶フラワーバレー」を会場に、数千人が訪れるコスモス祭。近年は、台風やコロナウイルスの影響で、3年連続で開催が中止されましたが、今年、主催する「東三瓶コスモス祭実行委員会」において、4年振りの開催が決定。30回目の節目を迎えます。

志津見地区の想い

志津見地区在住の空岡健さん^{たけし}は、長年フラワーイベントやダム周辺事業に携わり、現在は「志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会会長」「東三瓶フラワーイベント実行委員会委員長」として、コスモス祭の開催に尽力しています。

「志津見地区やダム建設に関わった人にとって、ダムは特別な存在。ダム建設を契機に始まったコスモス祭も大切なイベント」と空岡さん。



毎年人気のヤマメのつかみ取り (平成25年)

志津見地区の皆さんにとって大きなイベントのコスモス祭。「本当は3年前に30回目のはずでした。今回も中止を当然考えたが、地域の活性化や、地区の皆さんに元気を届けるために、何とかして開催したかった」と続けます。

「30年間も続けてこられたのは、ダムの礎石に刻まれた想いを忘れずに、地域活性化や地域間交流の必要性を伝え、地域の皆さんや訪れた人に理解していただいた賜物。このイベントは志津見地区だけでなく、志々地区にとってもなくてはならないものだ、多くの人に知っていただきたい」と話していました。

志津見ダムとコスモス祭

イベント告知

第30回コスモス祭

●日にち／10月9日(日) ●会場／東三瓶フラワーバレー

[内容] 大抽選会やうまいものテント、ダム見学会などさまざまなイベントが行われます

主催／第30回 東三瓶コスモス祭実行委員会

共催／国土交通省・島根県・飯南町

大きな節目を迎えた「志津見ダム」と「コスモス祭」。本町を代表するダムと秋を彩るイベントです。

今月号は、「志津見ダム」と「コスモス祭」、そして、この2つに関わってきた住民の想いを取り上げます。



過去の会場の様子

志津見ダムの歴史

昨年、完成10周年の節目を迎えた志津見ダムは、昭和47年に発生した豪雨災害を契機に立案された「斐伊川・神戸川治水に関する基本計画」に基づき、「島根県百年の大計」として建設が決定。昭和61年4月に建設事業が着手され、平成16年6月に本体工事が開始。7年後の平成23年6月に完成し、下流域の洪水調整などの役割を担っています。

志津見ダムの礎石には、当時の志々小学校児童のダムへの想いや願いを込めた「命の水 命のダム」「願い・豊かなくらし」という言葉が、直筆で刻まれています。ダムの建設に伴い、移転せざるを得なかった97戸の皆さんや、地元に残り



礎石のレプリカ (志津見ダム管理支所内)